

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

社会（公民）



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	社 会（公民的分野）
-------	------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい社会 公民
教育出版(株)	17	教 出	中学社会 公民 とともに生きる
(株)帝国書院	46	帝 国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
日本文教出版(株)	116	日 文	中学社会 公民的分野
(株)自由社	225	自由社	新しい公民教科書
(株)育鵬社	227	育鵬社	新しいみんなの公民

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民的分野)	2	東書	新編 新しい社会 公民

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・教科の目標達成に結びつく内容であり、学習指導要領に示されている内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	・学習指導要領の内容及び取扱いに準じて取り上げる内容を選択するとともに、多様性に配慮し、誰一人取り残されない学びになるよう工夫がなされている。 ・問題解決的な学習が重視され、各教科及び地理的分野・歴史的分野との関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。
	3 分量	・生徒が主体的に学習できるように内容を重点化し、単元毎に十分な学習活動を保障できるよう端的な字数で構成されている。
	4 使用上の便宜	・課題解決的な学習にわくわくをプラスする工夫を大きく3点掲げている。 1点目は、「わくわくを誘う学びの入り口」として、第1章では、イラストから学びの見通しを持つように工夫がされている。 2点目は、1時間の学習の流れを「見える化」する目的で、紙面の要素を定位置に配置する工夫がなされている。 3点目は、「学びを実感！学習のまとめ」として、学習のまとめに段階的に取り組み、単元を貫く探求課題の解決に繋げる工夫がなされている。
	5 印刷・製本等	・印刷が鮮明で挿絵や写真が見やすく、目に優しい色を基調としている。 ・文字は、見やすく間違えにくいユニバーサルフォントを使用している。また、全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。 ・再生紙、植物性インキが使用されている。 ・印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷されている。
教科ごとの選定の観点		(共通) 観点1について ○見方・考え方を働かせる活動には、「見方・考え方マーク」とその例を付していることから、見方・考え方を効果的に働かせ、より深い学びへと繋がるように促している。 観点2について ○調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を育成するために、様々な思考ツールを例示することにより、思考を整理しまとめることができる。 観点3について ○さまざまなシーンに最適な QR コードが用意されている。また、その QR コードが定位置に配置されているので、生徒は迷わずに活用する事ができる。そして、学びのシーンにあった QR コードがあることで、生徒の個別最適な学びや協働的な学びに活用でき、学びのアップデートが図られる。

	観点4について ○公民の学習に必要な技能を確実に定着させるために、「スキル・アップ」のコーナーを設け、QR コンテンツを効果的に活用(動画視聴やシミュレーション)することにより、社会事象への自己の関わり方を学ぶことができるよう工夫がなされている。 観点5について ○各章の導入ページには、小学校の振り返りや地理・歴史の振り返りのコーナーを設置することにより、相互の有機的な関連を図ることができる。 (公民的分野) 観点1(1)について ○現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、地理・歴史・公民の分野の枠を超えて貫く「5つのテーマ(環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、情報・技術、防災・安全)」を設定している。 観点1(2)について ○対話的な活動で学びを深める工夫として、計30箇所に「みんなでチャレンジ」〇〇について考えようという対話的な活動を促すコーナーが設置されている。対話から他者の意見を取り入れ、多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養い、思考・判断したことを説明し、議論する力も育もうと工夫している。 観点1(3)について ○3年後、18歳になり成人として主体的に社会参画するための準備として「18歳へのステップ」を設けている。生徒の興味関心を高める身近で具体的な場面から、憲法・政治・経済をとらえ、主権者意識・消費者意識の醸成を図っている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民的分野)	1 7	教出	中学社会 公民 とともに生きる

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・学習指導要領に示されている内容を不足なく取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	・学習指導要領の内容及び取り扱いに準じて取り上げる内容を選択するとともに、地理・歴史的分野との関連だけでなく、小学校や他教科との関連についても意識できる工夫がなされている。
	3 分量	・1単位時間の内容が見開き1ページで構成され、学習と指導の両面からわかりやすく、見通しを持ちやすいように工夫されている。
	4 使用上の便宜	・編・章の導入部には、学習の見通しや見方・考え方を提示し、学習の始まりとしての役割を強めている。 ・各章末では、導入部で示した「問い」を軸に、基礎・基本の確実な定着から、意見をまとめて表現し話し合う活動まで、段階的に行える工夫がなされている。
	5 印刷・製本等	・文字や資料などは鮮明で、色彩もビジュアル性が高く、写真やイラスト等の発色が美しい。 ・文字は、書き文字に近い専用の教科書体が使用（ユニバーサルデザインフォント、カラーバリアフリー）され、文字の大きさも適切である。
教科ごとの選定の観点		(共通) 観点1について ○社会的な見方・考え方を活用して考えさせたい問いかけに、「見方×考え方マーク」を付け、課題を追究したり解決したりする工夫がなされている。 また、各章のはじめに、学習の見通しが明記されている。 観点2について ○本文の流れに即し、資料を丁寧に読み解きながら考察する学習を重視している。写真・地図・グラフなどの多様な資料の読み解きについて、問いを手がかりに取り組むことで、資料活用に繋がる工夫がなされている。 ○学びを助ける三本の柱（LOOK、THINK、TRY）が明記されている。 観点3について ○全てのページに「なぜ・・・」から始まるタイトルを付け、生徒の探究心を引き出す工夫がなされている。 観点4について ○地理や歴史での学習を振り返りながら、自分たちが暮らす身近な地域を改めて見つめ直し、地域社会から課題を解決する考察・構想できるページが充実している。

	観点5について ○3分野の学びを関連させ、社会をより深く理解することができるよう、毎時間ごとに、ページ下に「関連コーナー」を明記している。 (公民的分野) 観点1(1)について ○1時間の中で学習したことを基に、「確認」では基本的な事項の確認と整理をし、「表現」では社会的事象や課題などに関わる説明や話し合いなどの表現活動と、段階的に振り返りながらまとめることができるよう工夫されている。 ○各章の終わりに学習のまとめと表現のページを設け、その章で学習したことを明確にするとともに、「HOP!」「STEP!」「JUMP!」の三段構成でより深く追究できるようにしている。 観点1(2)について ○本時の学習内容と関連を図り、更に一步進める今日的課題をテーマにした特設ページを設けている。また、社会の諸課題を捉え、その解決に向けて協働しながら多面的・多角的に考察し、表現する学習活動を促せるようにしている。内容にもう一步踏み込むことで、思考力・判断力・表現力を高め、資料やイラスト等を読み込むことで、公正に判断し、議論することができるよう資料等も精選されている。 観点1(3)について ○現代社会に見られる課題(特に、SDGs(持続可能な開発目標)の視点を持って、地球規模の課題と向き合い、解決方法を探ることができるよう私の提案作成ナビでわかりやすく説明している。
--	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民的分野)	4 6	帝国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・教科の目標達成に結びつく内容であり、学習指導要領に示されている内容の取り扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	・「自分ごと」として社会に参画する意識を育む内容となっている。 ・章・節・各本文それぞれの冒頭では、学習する内容を問い（「章の問い」「節の問い」「毎時の学習課題」で示し、生徒自らが学習の見通しを持てるようにしている。また、それらの問いの対となるように、章・節・各本文ページの末尾に課題（「学習を振り返ろう」「節の振り返り」「確認しよう」「説明しよう」）が設けられている。
	3 分量	・生徒が主体的に学習できるよう内容を重点化し、單元ごとに十分な学習活動を保障できるよう端的な字数で構成されている。
	4 使用上の便宜	・様々な特設ページやコラムを設定し、学びを深める工夫がある。 ・QR コンテンツを728設けてあり、「個別最適な学び」に役立てられる。 ・教科書の学習内容とリンクした「学習の前に」「学習を振り返ろう」「アクティブ公民」「パン屋さんをつくろう」のリンク集、ワークシート、アプリケーションなどで、学習内容の定着を図ることができる。
	5 印刷・製本等	・全ての生徒が使いやすいユニバーサルデザインに基づいた編修がなされている。文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントが採用され、重要語句は、ゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫が見られる。
教科ごとの選定の観点		(共通) 観点1について ○「技能をみがく」コーナーを6箇所設け、ロールプレイングやディベート、ディスカッションなどのスキルを扱い、主体的な取組を促すことによって、自主・自立の精神を養うようにしている。 観点2について ○本文ページの中の各種写真・統計類において、「資料活用」の問いを設け、習得した技能を生徒自身が日頃から磨けるようにしている。 ○パフォーマンス課題を設定したアクティブ・ラーニング型の授業を行える「アクティブ公民」を特設ページとして10箇所、コラムとして31箇所設けられている。様々な立場を踏まえて議論を進めることにより、合意形成を促される。 観点3について ○人権や環境・エネルギー、防災といった現代社会の課題を豊富に掲載し、持続可能な開発目標（SDGs）の意義への理解に繋がる工夫が見られる。 「未来に向けて」コーナーでは、人権の尊重や環境保全、防災といった現

	代社会の課題を多く取り上げている。 ○「アクティブ公民」では、将来の日本の電源構成案を考える活動を通して、持続可能な社会の形成に向けて、具体的に考えを深める工夫がある。 観点4について ○パフォーマンス課題を設定したアクティブ・ラーニング型の授業を行える「アクティブ公民」を特設ページとして10箇所、コラムとして31箇所設けている。 観点5について ○「小学校・地理・歴史との関連」の欄が設けられていて、小学校社会科で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。また、資料には「小・地・歴」アイコンが付され、小学校の学習との関連を確認できる。 (公民的分野) 観点1(1)について ○実社会に興味を持たせる本文の工夫や学習内容を俯瞰してイメージできるイラストを「学習の前に」のコーナーに設けている。また、身近な事例から実感を持って学習できる資料を「導入の具体事例」としても設けている。このことで、現代の社会的事象に関する情報を自分事として効果的に調べ、まとめる技能を育成する内容となっている。 観点1(2)について ○章末に「学習を振り返ろう」を設け、学習した知識・技能の確認だけでなく、「学習の前に」(章・節の問いをイラスト化したもの)を振り返ったり、思考ツールを用いた学習事項の整理と「対話」を通しての「章の問い」に対する考えをまとめられるように工夫している。そのことで、「深い学び」の実現を図ろうとしている。 ○5部に「課題探求学習」として、これまでの学習を踏まえて、みずから課題を設定して探求学習ができるようにしている。各章の「学習を振り返ろう」で考えた探求テーマを参考にすることにより、より主体的な学習につながるよう工夫している。 観点1(3)について ○領土について、国際法に則った日本政府の立場や解決に向けた取り組みを丁寧に説明していて、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める内容になっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民的分野)	1 1 6	日文	中学社会 公民的分野

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・社会的な見方・考え方を働かせるために、各章の導入ページでは、生徒たちが主役となったマンガによって、各章の学習に関心を持たせ、身近な場面から章の学習内容に関する問いを考え、その問いに対する答えを予想し、学習の見通しを持つことができるようになっている。
	2 内容に関する配慮事項	・原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確にしている。 ・各章の節ごとにその節の問いを表し、学習の流れを確認することができる。
	3 分量	・中学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列している。
	4 使用上の便宜	・基礎的・基本的な知識の定着のため、QRコードからスライドショーで順序立てて説明ができ、確認をすることができる工夫をしている。 ・紙面だけでは伝わらない臨場感として、QRコードから動画視聴ができるように工夫している。
	5 印刷・製本等	・教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォントを使用。 ・特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、全ての生徒が等しく情報を読み取ることができる工夫をしている。
教科ごとの選定の観点		(共通) 観点1について ○社会的な見方・考え方を働かせることができるように、すべての見開き本文ページに、学習課題の解決に向けて手がかりとなる主な「見方・考え方」の例を示している。 ○「アクティビティ」では、アクティブラーニングの視点から、具体的な事例について、資料の読み取りや協働的な学習など「どのように学ぶか」を見据えて、教材を作成している。 観点2について ○各単元に「明日に向かって」私たちの社会参画というコーナーを設け、課題を設定し、そこにある資料をもとに思考・判断し、まとめるという工夫がなされている。 観点3について ○現代社会、憲法、政治、経済、国際社会の各単元で、学習した知識を生かすことのできる課題を設定している。そこでは、他者と協働的に学習を進め、多面的・多角的に課題を考えることができるよう配慮している。また、与えられた資料やそれまでの学習内容を整理し、客観的事実と自分の意見を

	整理して表現できる工夫が見られる。 観点4について ○社会的事象等について調べ、まとめる技能の育成に資する教材として、特設ページに「情報スキルアップ」、巻末や本文中に「思考ツール」や「ニュースの見方・考え方から見てみよう」など多様な教材を設けている。 ○生徒の学習を支援するページとして、たびたび必要となる世界地図を大きく掲載し、世界と日本の比較をわかりやすく表している。 観点5について ○小学校での既習事項や地理的分野・歴史的分野の内容を巻頭3や教科書本文の中に連携コーナーとして設定している。（「小学校で学習した内容」「地理(関連資料)」「歴史(関連資料)」） また、巻末に、公民的分野の学習内容と他教科の関わり、高等学校公民科「公共」についても掲載している。 (公民的分野) 観点1 (1) について ○現代社会、憲法、政治、経済、国際社会の各単元で、学習した知識を生かすことができる課題を設定している。それらの課題について、資料を基に調べまとめる内容が盛り込まれている。 観点1 (2) について ○社会参画を促すための手掛かりとなるようなページとして、「明日に向かって」という項目を10箇所設けている。その特設ページで、公正に判断する力、思考・判断したことを説明し議論する力を養えるよう工夫されている。 観点1 (3) について ○「チャレンジ公民」という項目を章末に設け、与えられた資料を基に社会の課題についての考察、構想を行い、生徒が「見方・考え方」などを用いて、判断基準を踏まえて表現することができるような内容になっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民的分野)	2 2 5	自由社	新しい公民教科書

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	- 各章末のページ等で思考・判断・表現させることによって、公民として必要な主体的・実践的な能力を伸ばしていくことができるようにしている。 - 生徒の発達段階を考慮し、基礎的な意味を理解できるように基礎的事項を厳選している。
	2 内容に関する配慮事項	- 課題の探求を目的として、各章末のページや終章のレポート、卒業論文等で自らの考えをまとめ、発表する機会を設けている。 - 自主的に学習するように、各章末のページで自ら表現し、自ら考え、自ら答えていく学習ができるようにしている。
	3 分量	授業時数から見て適切な分量である。
	4 使用上の便宜	- 資料や図などは学習を進める上で精選されている。生徒の思考を促す挿絵は大きく、写真は小さめで、適度な空白があり目に優しい。 - 発展的に学習して理解を深めることが必要などころでは、特設ページを設けていて、それ以外の内容と区別している。
	5 印刷・製本等	- 落ち着いた配色で印刷されている。 - 製本も使用に耐えられる。
教科ごとの選定の観点		(共通) 観点1について ○現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養い、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっている。 観点2について ○終章にレポートと卒業論文を作成する活動が設定されていて、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけさせることができる内容になっている。 観点3について ○終章にディベートを実践する活動が設定されていて、多面的・多角的に考察する力や思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっている。 観点4について ○愛国心についての記述があり、また裏表紙に日本各地の伝統的工芸品を紹介していて、自国を愛するとともに我が国の伝統や文化に対する愛情を深めることができる内容になっている。

	観点5について ○地理的分野・歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっている。 (公民的分野) 観点1(1)について ○一緒に公民を学ぶ先生と友だちの挿絵の吹き出しによって、生徒の思考を促すようにして、個人と社会との関わりを中心に理解を深める内容になっている。 観点1(2)について ○特設ページや終章で、現代社会に見られる解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述する力を育成する内容になっている。 観点1(3)について ○裏表紙に我が国の領域を掲載したり、特設ページを設けて我が国の領土問題について詳しく解説したりしている。また、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力しあうことの大切さについての自覚を深める内容にもなっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (公民的分野)	2 2 7	育鵬社	新しいみんなの公民

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・学習指導要領に示されている内容を不足なく取り上げている。 ・図表類、写真には適宜、理解を深めるための解説を示す等、有効な資料活用のための工夫がなされている。
	2 内容に関する配慮事項	・教育基本法が定める目標を達成するため、生徒が、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培い、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを主眼としている。
	3 分量	・1単位時間の内容が見開き2ページで構成されている。また、学習指導要領が示す公民的分野の授業時間数100時間で学習が完結できる分量となっている。
	4 使用上の便宜	・「学びのテーマ」「学び方の方法や手段」「まとめ方」などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる工夫をしている。 ・ICTを活用した学習を促すQRコードを目次と各章の冒頭に用意している。
	5 印刷・製本等	・図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫がなされている。ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいようにしている。 ・造本は長期の使用に耐えうる丈夫な製本となっている。 ・紙は質の高い再生紙を使用し、印刷には環境に配慮した植物油インキを使用している。
教科ごとの選定の観点		(共通) 観点1について ○グローバル化が進む現代社会の特徴や、国際社会においてルールを守ることの大切さ、国際協力の必要性がわかりやすく説かれている。 ○国際社会が抱える諸問題に関する教材や、平和教育に関する教材を取り上げ、生徒が平和な国際社会の実現や国際社会の発展に寄与していくための基礎を養えるようにしている。 観点2について ○我が国の国土と歴史に関しては、地理的分野・歴史的分野での既習事項を本文左側に語句で表し、関連性をつかめる工夫をしている。また、「学習を深めよう」のコーナーで、資料活用の手がかりを示している。 観点3について ○生徒が多面的・多角的に考察できるようにバランスのとれた資料の選定、本文の記述を工夫している。 観点4について ○我が国の領土問題や北朝鮮による日本人拉致問題については、日本政府の

	見解を紹介し、明確に記述している。これをもとに、主体的に解決しようとする態度が育つように配慮している。 観点 5 について ○小学校社会科で学習した関連内容については各章扉で、地理的分野・歴史的分野で学習した関連内容については該当する見開きで紹介することにより、小・中の系統的学習を図ることが工夫されている。 (公民的分野) 観点 1 (1) について ○本文で学習したことをより詳しく説明している。関連する情報を紹介する「学習を深めよう」のコーナーの資料を効果的に活用し、まとめることができるよう工夫している。 観点 1 (2) について ○社会的事象の意味や意義を側注にわかりやすく表し、現代社会に見られる課題について、コラムで紹介している。その側注やコラムを参考に、多面的・多角的に考察し、ディベートやシミュレーションをする事により議論する力を養うようにしている。 観点 1 (3) について ○現代の社会事象の一つとして、SDG s (持続可能な開発目標)がある。そのSDG s の 17 のゴールを口絵に示し、教科書の学習内容について、その中のどれにあたるか考えられるように工夫されている。また、SDG s に関する教材を豊富に紹介することにやり、生命や自然、環境について積極的に考えられるよう工夫もしている。
--	--